

# 令和7年度 障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業 導入効果報告

## 1. 導入機器

導入内容	メーカー	導入したシステム・機器等	数量
HUG 成長療育支援システム	(株)ネットアーツ	ソフトウェア	1 式
chromebook Duet Gen9	Lenovo	タブレット	10 台
トランシーバー IC-4120BT	ICOM	インカム	8 台
イヤホンマイク HM-177L	ICOM	インカム	8 台

## 2 事業者抱える課題

- ・支援記録については手書きによる記録を行っているが、同一の内容の記録を利用者へのサービス提供記録や内部のケース記録などにも記録する必要があり、重複した記録の作成は職員にとって大きな負担となっている。  
また、手書きの記録は情報の共有や検索が困難であり、支援職員全体での情報の一元管理や連携が効率的にできない状況である。
- ・保育室と職員室の間に直接的な連絡手段がなく、緊急時や迅速な対応が求められる場面において、職員間の連携に支障をきたしている。  
また、施設内で職員が離れた場所にいる場合、口頭や電話での連絡では即時性に欠け、業務の効率や安全管理の面でも課題がある。

## 3. ICT 機器等を導入する業務内容

- ・タブレット・ソフトウェアを導入することによる、児童発達支援における、園児の情報管理、支援記録の作成、請求業務、ならびに保護者との連絡に関する業務。
- ・インカムを導入することによる、支援中や緊急時に職員同士がリアルタイムでの情報共有・連絡業務。

## 4. 導入効果

- ・タブレット端末とソフトウェアの導入により、職員が個別に随時記録できる環境が整い、記録の質向上と業務効率化が進んだ。ケース記録の共有も容易になり、確認や申し送りの時間が短縮されたことで、多職種の情報連携が強化され、職員の業務負担が軽減された。
- ・インカムを使用することで、保育室と職員室、また施設内の各所にいる職員同士がリアルタイムで情報共有・連絡を行うことが可能となり、業務の円滑化が図れるようになった。